

論語教室だより

『寺子屋・こども論語塾』世話人会
第 42 号
2014 (平成26) 年8月23日 (土)

論 語

江別市立江別小学校6年 阿閉 由佳

私は小さいころ「こどもの声発表会」に出て、新田先生が論語塾を開いていることを知りました。

私は論語が何なのかは全く知らずに論語塾に通い始めましたが、仁の心や君子、小人などたくさんの言葉の意味を何度も聞き、やっと覚えることができました。

私は新田先生が言っていた話で印象に残っている話があります。それは、「ある幼稚園でけんかをしている子供がいて、それを見た女の子が論語を暗誦し、けんかを止めさせた」という話です。

私はこの話を聞いて、その論語を暗誦した女の子もケンカを止めさせた論語の力もすごいと思いました。

私は尊敬している人が何人かいます。それは先生やお父さん、お母さんは勿論ですが、孔子先生も尊敬しています。なぜかという、仁の教えを活かせる国を求め、十四年間も旅を続けていたからです。結局そういう国は見つかりませんでした。孔子先生は魯に帰り、仁について語り人材を育てました。

孔子先生は、仁の教えを求めている国が無いかもしれないのに、十四年間も国を回り続けたのはすごいと思うのと同時に、私も良い事はくじけずにやれる心の持ち主になりたいと思いました。

最後に、私は何かのえんで新田先生と出会え、論語を学べるというめぐまれたかんきょうに本当に感しゃしたいと思っています。なぜなら、私は論語をやって初めて仁という意味、君子という意味を知り、学校では勉強できないことを学べたからです。なので、これから中学、高校、大学、社会人になっても論語を続けていきたいと思っています。

※ 来月(9月)は、街道 太陽君にお願いします。

【お知らせ】

9月の論語塾は、最後に「懇談会」がありますので宜しくお願い致します。

ひと こと ば 一 つ の 言 葉

一つの言葉でけんかして

一つの言葉で仲直り

一つの言葉で頭あたまが下がり

一つの言葉で心こころが痛む

一つの言葉で楽しく笑い

一つの言葉で泣なかされる

一つの言葉でそれぞれに

一つの心をもっている

きれいな言葉はきれいな心

優しい言葉は優しい心

一つの言葉を大切に

一つの言葉を美しく

とても素敵な詩ですよ。私の大好きな詩の一つです。

言葉を大切にすることは、人間を大切にすることだと思ひます。言葉が美しい人は、心こころが美しい人だと思ひます。言葉はその人を表し、その人を作っていくものだと思ひます。

相手に対して、常に思いやりの心こころをもった言葉遣いことばづかをしたいものです。

ちなみに、この詩の作者はわかりません。

寺子屋・こども論語塾 主宰 新田 修より